



ソフトウェアテストにおける トップ技術者の育成に向けて

2010年1月28日

財団法人 日本科学技術連盟
SQiP事業担当 安随 正巳



はじめに

- 今後の日本のソフトウェア産業のあり方を考えたとき、プロフェッショナルを集めたプロジェクトの形成が不可欠と考えられます。
- 今こそ、トップ技術者の育成が企業に求められています。
- この問題意識に対する日本科学技術連盟の取り組みを紹介します。

少年野球でも同じ…？



強い少年野球チームの条件とは・・・？



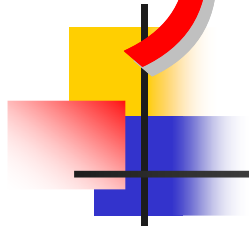


私の監督経験から・・・

- 指導者が本気になる
- 指導者と親がよい関係になる
- よい練習をする＋練習のための練習をしない
- 子供達に小さな成功体験をたくさん積ませる

そして・・・


リーダーが必要！



(改めて言うまでもないと思いますが…)

ソフト業界を取り巻く環境

- 情報システムは、クラウドコンピューティングの登場により、その方向を大きく転じようとしている。
- 今後は携帯電話やゲーム機、情報家電機器とクラウドコンピューティングとの融合が進み、新しい情報の流通が増大する。
- 日本のソフトウェア業界はこのような事態を先取りする成果を残念ながら生み出すことはできませんでした。
- これらは、プロフェッショナル集団によるソフトウェアの企画、生産方式を採用したアメリカが先行しており、ソフト開発の世界ではインド、中国が世界の生産基地になりつつある。
- 今後の日本のソフトウェア産業のあり方を考えた時、プロフェッショナルを集めたプロジェクトを形成しない限り、顕著な成功はおぼつかなくなる可能性があります。今こそ、トップ技術者の育成が求められている。



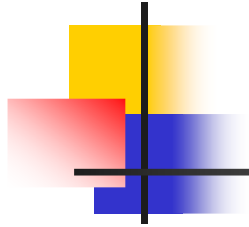
成功の原動力はテスト・レビュー

- ソフトウェア開発において、テスト・レビューは必要不可欠なプロセスであり、その技術・プロセス・マネジメントの習熟と改善は、企業にとって製品開発の根幹部分。その原動力が、豊富な経験を持つプロフェッショナルの量と質であることも自明です
- 失敗プロジェクトの根底には、その企業におけるプロフェッショナル育成力の衰弱があり、その原因の多くは唯一の育成手段であったOJT(On the Job Training)の機能喪失にある。

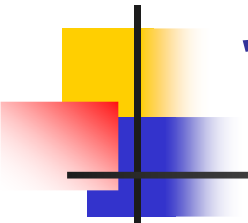


高度技術者育成(トップガン) が必要となる理由

- 機能安全規格への対応 ISO61508, ISO26262
→分野知識とソフトウェア工学の両方に通曉した技術者が必要になる。
- クラウドコンピューティングへの対応
- PC ハードウェア、ソフトウェア製品ビジネスの転換
- 個別ユーザ市場の縮小(崩壊)
- 使いやすさと効率、信頼性等を同時に満足したソフト製品の開発競争



今こそ、ソフトウェア
テストにおけるトップ
技術者の育成
を!!!



どうすればトップガンが育成できるのか？

- トップガン育成は、どんなに職場経験を積んでも、それだけでは出来ないことは明白。
- 第一線で活躍しているプロフェッショナルに共通することは、何らかの外部からの刺激とターニングポイントが存在すること。
- ターニングポイントの機会とは、職場という狭い井戸の中から、広い世界に飛躍するために必要不可欠。
- どうすれば、合理的にターニングポイントとなる機会を作ることができるのか…。



モダンソフトウェアテストアカデミー : プロフェッショナルコース 開設!

2011年10月開講!

コースの特色

- 技法だけでなく、テストの観点、テストケース抽出、テスト実施、品質評価まで幅広い範囲を対象とします。
- 設計レビュー、単体テストからシステムテスト、さらに品質評価や設計プロセスの評価まで対象とします。
- 技法の習得、演習／事例分析、フィールドスタディ(自分の課題分析)を1:1:1の割合で学びます。
- 講師は、知識だけでなく実務経験が豊富で、かつ、現役です。
- 多忙な受講生の業務を阻害しない日程構成とし、少人数でゼミ形式で進めます。

こんな方におすすめします

- 組織からプロフェッショナル候補として推薦された者



主 要 内 容

- テスト全体像：開発ライフサイクルとテストライフサイクル
- 人的要因とテストのモチベーション
- テストの観点とテストのアプローチ選択、見積もり、計画
- フィールドスタディのテーマ分析
- CFDとその応用
- 画面遷移、状態遷移など複雑系の技法とアプローチ
- HAYST法とその応用
- 無限の組合せに対する技法とアプローチ
- 研修成果としてのレポート作成と議論と発表
- テストの評価、品質評価、テストプロセス改善
- 検証指向開発など設計とのインタフェース
- 最新技法／事例



講師陣と日程、参加費

■ 斯界の一流講師陣が指導にあたります！

松尾谷 徹(デバック工学研究所 代表・法政大学講師)

西 康晴(電気通信大学 電気通信学部 システム工学科 講師)

秋山 浩一(富士ゼロックス 品質本部・システム品質評価部技術主査)

堀田 文明(デバック工学研究所 技師長) ※敬称略

■ 参加費 577,500円(一般)／525,000円(会員)

■ 日 程(6日間)

①10月22日(金)～23日(土)[宿泊制]

②11月12日(金)

③11月26日(金)

④12月10日(金)～11日(土)[宿泊制]



—トップガン教育「モダン・テスト・アカデミー」開講記念講演会—

- 日科技連が2010年に開講するソフトウェアテストにおけるトップ技術者育成のための「モダン・テスト・アカデミー」を記念して講演会を開催します。

2010

2/8

Monday

13:00

-16:30

今こそ、ソフトウェアテストにおける
トップ技術者の育成を！！

トップガン教育
「モダン・テスト・アカデミー」
開設記念講演会

主催：財団法人日本科学技術連盟

参加費
無料！

「ソフトウェアテスト、トップ技術者育成のための特別講演会」を開催します

日科技連では、ソフトウェアにおける品質、信頼性向上のために「テスト、トップ技術者育成」が不可欠と考え、2010年トップ技術者育成のための「モダン・テスト・アカデミー」を開設いたしますが、これを記念して特別講演会を開催することとなりました。

専門家による「講演」と企業実務家による「事例講演」で構成しており、講演終了後には両講演者による質疑応答の時間も設けております。

トップ技術者育成の問題意識をお持ちの教育担当様、この機会をお見逃しなく！

プログラム

2010年2月8日(月)

13:00～13:05 オリエンテーション

13:05～14:00 【講演1】(株)デンソーにおける高度技術者育成

— ハイタレント研修におけるソフトウェアへの取り組み —



開設記念講演会の概要

- ・日程: 2010年2月8日(月) 13:00~16:30
- ・会場: 財団法人 日本科学技術連盟 東高円寺ビル 地下1階講堂
- ・主催: 財団法人 日本科学技術連盟
- ・後援: (依頼中) ITメディア、翔泳社、日経コンピュータ、技術評論社

プログラム:

13:00~13:05 オリエンテーション

13:05~14:00 **講演1「(株)デンソーにおける高度技術者育成:ハイタレント研修におけるソフトウェアへの取組み」**

講演者: 古畑 慶次氏((株)デンソー技研センター 技術研修本部

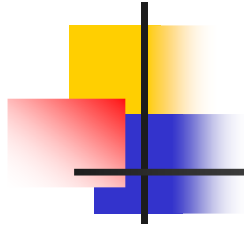
14:10~14:40 「高度技術者育成とSQiP活動の紹介」 財団法人 日本科学技術連盟

14:40~15:50 **講演2「テスト、検証におけるトップガン育成のすすめ**

講演者: 松尾谷徹氏(デバッグ工学研究所 代表、法政大学 講師)

16:00~16:30 全体質疑応答(講演者2名)

主参加対象: ソフトウェア関連企業の教育担当窓口、教育担当責任者



- 是非、日科技連の
トップガン教育を活
用いただき、競争優
位の実現を！